



学校だより
第25号

応其の風

発行：平成28年2月24日

橋本市立応其小学校

橋本市高野口町名古屋 19-1

Tel：0736-42-2067

平成27年度応其小学校児童の生活と学び

～アンケートや調査結果から見える児童の姿～

応其小学校では、12月に保護者のみなさんに学校の取組や子どもの家庭での様子等についてのアンケートを実施しました。児童には、6月と2月に生活アンケートを実施しました。

また、児童の学力調査は、6年生が4月に「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）を実施。4年生から6年生が12月に「和歌山県学習到達度調査」（和歌山県教育委員会）を実施しました。

これらのアンケートや調査結果から見える児童の姿や保護者の皆様のご意見についてお知らせします。

■保護者アンケート

保護者アンケートの大項目は、「応其小学校の教育目標の達成度」「子どもたちの学校でのようす」「学校や教職員」「家庭生活」「学校の取組」「その他」の6つです。

「**応其小学校の教育目標の達成度**」については、「命を大切にする、感動する子」「思いやりのある子」「協力する子」で概ねよい評価をいただきました。「よく考える子」については、昨年度と比較して改善傾向にあります。しかし、「粘り強さ」「基本的生活習慣の確立」については昨年度に引き続き、課題と捉えています。

「**子どもたちの学校でのようす**」については、「学校が楽しい」「仲良く学校生活を送っている」でよい評価、「授業がわかりやすい」で概ねよい評価をいただきました。特に、「学校が楽しい」「仲良く学校生活を送っている」が97%以上の肯定的な回答で大変うれしいことです。特にこれらの項目は、今後も丁寧に取り組んでいきたいと考えています。「学習内容の理解」については昨年度に引き続き、課題と捉えています。

「**学校や教職員**」については、「教職員の熱意」「教職員の子ども理解」「迅速な対応」でよい評価をいただきました。「気軽に相談できる」についても概ねよい評価をいただきましたが、保護者のみなさんとのつながりをより一層大切にしていこう必要があると考えています。

「**家庭生活**」については、「あいさつ、早寝、早起き、朝ご飯」「子どもと語り合う時間」について、多くの保護者のみなさんが取り組んでくださっているとの回答をいただきました。「生活リズムチェック」を活用するなど、関心を持って取り組んでくださっていることに感謝します。一方、「テレビやゲームの時間を意識している」「学習する時間を決めている」「読書に親しむ習慣を

つけている」は、他の項目と比較して低い数値となっており、重点的に取り組む必要がある課題と言えます。

「**学校の取組**」については、「教育活動全般についての支持」「学校の様子を積極的に伝える」「保護者や地域と連携した子どもの安全対策」「スクールボランティア等の活用」でよい評価をいただきました。一方、「いじめのない学級・学校づくり」については、継続して取り組まなければならない課題と捉えています。

■生活アンケート

学年により違いがありますが、「朝食を食べる」「家の人と夕食を食べる」「学校のできごとについて家の人と話す」「友達に会うのが楽しい」「好きな授業がある」「物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある」「将来の夢を持っている」「自分にはよいところがある」「人の気持ちが分かる人間になりたい」「人の役に立つ人間になりたい」「近所の人に会ったとき挨拶をする」等の項目で、肯定的な回答が得られています。

また、家庭学習の時間についても、低学年で20分以上、中学年で学年×10分以上、高学年で1時間以上を設定して取り組んでいます。2月のアンケート結果では、学年が上がるにつれて、設定時間以上の家庭学習に取り組んでいる児童が増えてきています。

しかし、保護者アンケートの中で見えてきた「粘り強さ」「基本的生活習慣の確立」「テレビやゲームの時間」「読書」等の課題は児童の生活アンケートでも課題として現れています。下の表は、平日に3時間以上テレビやゲームに時間をかけている割合、10分未満の読書の割合を表しています。6月と2月を比較すると、中学年においてテレビの視聴が格段に減っています。また、高学年でも減少傾向があります。ゲームでは、高学年が減っていることが分かります。読書については、10分未満の読書は減少傾向にはありますが、課題と捉えています。

項目 学年	テレビ（3時間以上）		ゲーム（3時間以上）		読書（10分未満）	
	6月	2月	6月	2月	6月	2月
低学年	5%	7%	0%	0%	65%	42%
中学年	22%	6%	8%	9%	43%	34%
高学年	14%	10%	11%	4%	38%	28%

今後も「生活リズムチェック」等の取組を継続し、改善につなげていきたいと考えていますので、家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

■全国学力・学習状況調査（6年生）

この調査は、6年生を対象に、平成27年度は国語科（基礎問題・活用問題）、算数科（基礎問題・活用問題）、理科で実施しました。応其小学校は、昨年度までの結果において「徐々に全国平均に近づきつつあります。」という表現でお知らせしていましたが、本年度は、全ての教科（国語科、算数科、理科）、観点別（基礎問題・活用問題）においても全国平均を上回る結果でした。

■和歌山県学習到達度調査（4年生、5年生、6年生）

この調査は、4年生から6年生を対象に、国語科（基礎問題・活用問題）、算数科（基礎問題・活用問題）で実施しています。今年度（12月）実施した本調査では、4年生算数科で和歌山県平均と同程度でしたが、6年生国語科・算数科、5年生国語科・算数科、4年生国語科

で和歌山県平均を上回る結果でした。

応其小学校では、平均点だけにとらわれることなく、児童一人一人の結果に目を向け、日々の分かりやすい授業、朝の学習・朝の読書、放課後の補充学習、そして家庭学習の充実に取り組んでいます。また、保護者のみなさんの協力を得て実施している「生活リズムチェック」も欠かすことはできません。このような、地道な取組が、少しずつ成果として表れてきていると考えています。

今後も、子どもの姿を通し、保護者の皆様と成果や課題を共有しながら、子どもの成長を願い、子どもも、そして大人も「ともに学ぶ」ことを大切にしていきたいと考えていますので、ご支援、ご理解をお願いします。

（今田実）

和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

第15回となる本大会が、2月21日（日）、紀三井寺運動公園陸上競技場をスタート、県庁前までの21.1kmのコースで行われました。応其小学校から、橋本市代表チーム第7区走者として 藤野大翔さん（6年）が、橋本市オープンチーム第6区走者として山村聖奈さん（6年）が出場しました。

その結果、橋本市代表チームが、1時間12分10秒で5位入賞（過去最高位）を果たしました。橋本市オープンチームも1時間18分17秒と健闘しました。

応其小学校からは、出場した2名以外にも、橋本市ジュニア駅伝チームとして2名が選ばれています。また、ジュニア駅伝の練習に参加している児童もいました。このように、多くの児童がジュニア駅伝に関わり、自分を高めようと努力を重ねたことを大変うれしく思います。



授業参観・学級懇談会

2月19日（金）に、本年度最後の授業参観・学級懇談会を開催しました。お忙しい中、多くの保護者の皆様に出席いただきありがとうございました。

各学級で、「1年間の成長をおうちの方に伝えたい」と思いながら、子どもたちはしっかりと準備をしてきました。いかがでしたでしょうか。お子様の成長したところをいっぱい言葉で伝えてあげてください。おうちの方の一言が、子どもたちの大きな励みになります。応其小学校としても、目指す学校像、児童像に少しでも近づけていくよう、懇談等でいただきましたご意見を教職員で共有し、生かしていきたいと思ひます。

登下校の右側1列通行

地域の方から、また、保護者の方から登下校に関してのご意見をいただきました。

■右側1列通行の徹底

「歩道がない箇所、2列以上で横に広がりながら歩いている児童がいるので、大変危険です。また、右側を歩いていない児童もいます。」というご意見をいただきました。応其小学校の通学路は、歩道が整っていない箇所があります。道路の路肩を歩かなければならない箇所等では、特に「右側通行の徹底」と「1列で歩くことの徹底」を子どもたちに指導していますが、保護者の皆さん、地域の皆さんも子どもたちへの声かけをよろしくお願いします。

■歩いて登下校

保護者アンケートで「今の時代仕方がないことかもしれませんが、車ではなく徒歩通学の子が増えるように取り組んでもらいたい」というご意見をいただきました。学校としても、徒歩での登下校を基本と考えています。徒歩での登下校は、体力向上はもちろんですが、四季の変化、地域の方々とのふれあい、友達との会話や異年齢の交流など、子どもたちの成長を促す要素がたくさんあります。是非、安全な徒歩での登下校について、ご家庭でも話題にいただけると幸いです。

しかし、どうしても車での送迎をしなければならないときには、体育館前へお願いします。東門等、その他の所は大変危険です。体調面等で送迎を必要とする場合は、南門からお入りください。

